

ひがし しらかわ 広報

No. 189
'51 4 / 20

人口の動き

人口	3,943人
世帯	956世帯
出生	5人
死亡	1人
転入	17人
転出	58人

—3月末住民登録人口から

発行 / 岐阜県加茂郡東白川村 編集 / 企画広報課 印刷 / 関市中部印刷所

おじさん ありがとう

この子らは、運
転する人を信頼し
ています。

交通安全の原則
である相互信頼を
裏切らないよう交
通ルールを守りた
いものです。

— 雨の中の登校風景 —



主な内容

- 新年度予算のあらまし…… 2～4 P
- 消防団入退団式…… 5 P
- 青年祭のもよう…… 6 P
- 体力診断テストのもよう…… 7 P
- 教職員の人事異動…… 8 P
- 団体長や役員の紹介…… 9 P
- ふるさとへの便り…… 10 P
- おしらせは7ページ下欄から

昭和51年度予算決まる 量より内容充実が基本

一般・特別会計合わせて8億6百90万円

三月十日から開かれた村議会で一般・特別会計合わせて八億六千九百九十九万円の昭和五十一年度予算が成立しました。村議会は、六日間にわたり慎重な審議が続けられましたが、最終日の十六日に予算と関連議案が可決されました。

この予算は、昨年当初から比べると、全体では、六・三割、一般では一四・八割減少しています。

これは、昭和五十年度は、村民センター建設費が大きな割合を占めていたため、これを除けば、実質約一〇割の伸びとなっています。厳しい財政運営といわれる中で最近、健全な安定路線への方向づけへと変わり、さらに地域住民の生活安定と福祉充実を基本に施策や事業が盛り込まれています。

特に本年度は大きな事業はありませんが村総合計画に基づく道路の改良整備、教育、福祉施策の内容充実などを重点として、総合的に推進が図られます。

本号では、この村の一年の予算のあらましを特集しました。

歳入のあらまし

地方財政の深刻な財源不足の中で、住民の広く高度な要請に対する事業や施策の実現は非常に厳しくなってきたといえます。

こうした中で、村の予算は歳出の裏付ともなる財源の確保も厳しくなる一方で、そのためには、あくまで、適確な財源の確保と、年次計画による施策や事業の推進が基本となってきます。

村の財源は大きく分けて国や県から交付や補助される依存財源、村が独自で確保する村税や財産収入などの自主財源があります。

特定な自主財源の乏しい村では

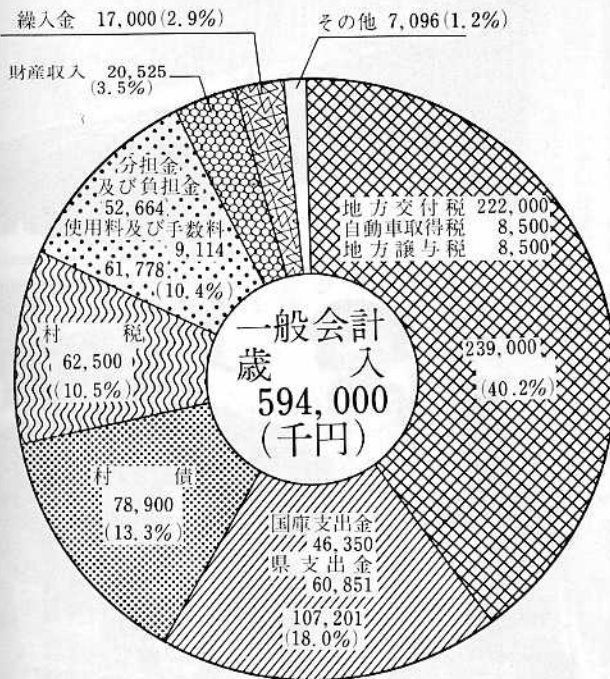
どうしても依存財源に頼るほか

く、新年度も全収入の七一・五割（前年度は六〇・七割）も見込んでいます。

自主財源のうち村税の占める割合は一〇・五割にすぎず、今後村が大きな事業や、充実した施策を行うっていくためには、地方交付税の配分や補助金の増額運動が大きな課題となってきます。

直接住民皆さんに負担していただく村税を一世帯平均にすると、約六万五千円、一人当たり約一万六千円となります。

一方、村づくりのための総予算は一世帯平均約六十二万一千円、一人当たりでは約十五万一千円となります。



これを単純に並べて見ると、私たち住民一人が百円の負担で九百三十円の公共事業が行われるというわけですが。

このように、国や県に大きく依存している村の財政は、今後の社会情勢にも大きく左右されることも予想され、そのためには、限られた財源を必要性と効果、効率を考えて使用していく必要があるのです。

歳出のあらまし

総務費・議会費

137,248千円

村の行財政全般の運営を図るための費用です。

議会、役場の通常経費のほか、村有財産の管理育成、企画、交通安全、徴税、戸籍、選挙統計調査費などが含まれます。

また三年目を迎えた村誌編さん事業、広報や議会の発行費などもこの中に入ります。

特別なものとしては、有線放送協会負担金や、過疎バス車掌対策補助金、病院事業会計補助金、今年開校した白川高校通学用バス補助金などがあります。



→ 予算を審議する議会

民生費

71,161千円

住民が等しく、生きがいのある人間らしくある生活を営むための相互扶助の費用といえます。
 一般的な社会福祉のほか、老人福祉、児童福祉、生活保護費などが含まれます。

老人や乳幼児、重度心身障害者などの医療費負担、保育所の開設費、国民年金事業のほか、老人クラブ活動の育成やホームヘルパーの設置などが主なものです。
 物の豊かさから心の豊かさが必要とされる時代に人と人、心と心の人間環境を大切に、お互いの助

衛生費

23,709千円

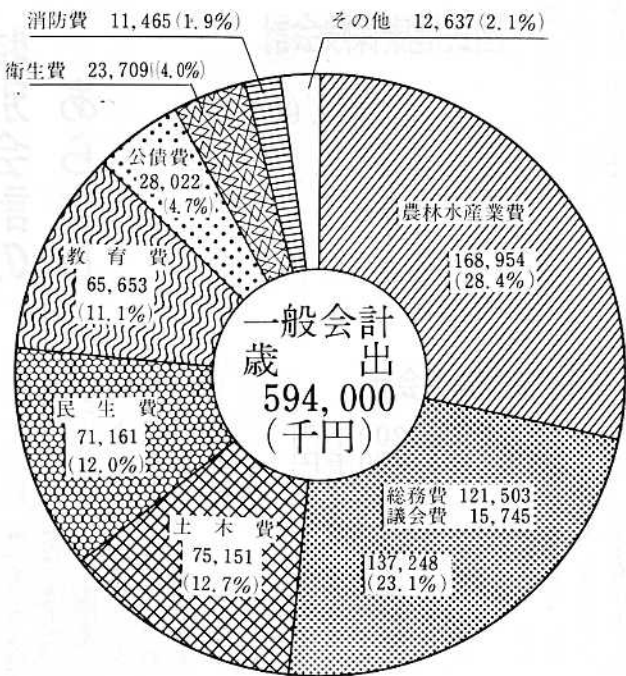
け合い、思いやり、温い人間関係を育てることを基本に編成されています。

健康で明るい暮らしを支えるための予防的費用です。
 一般衛生費、結核や成人病など各種予防費、ごみ・し尿処理、防疫、飲料水供給対策などの環境衛生費、分娩から母子健康まで幅広い指導を行う母子健康センター費があります。
 住民すべてが健康で、快適な環境の中で生活を営むためになくてはならない経費といえます。

農林水産業費

168,954千円

村の産業基盤である農林業や、それらに関連する産業を発展させ所得を高めようとする費用です。
 一般的総務費のほか、村の基幹作目である茶、養蚕、畜産、水稲などの生産性を向上させ、より振興を図るための農業振興費、さらにそれらの振興の基盤となる、農道開設や改良工事、行なう農地費、山村振興事業費、村民センター管理費が主なもので



土木費

75,151千円

り、第二次農業構造改善事業や林業構造改善事業の計画も検討していくことになっていきます。
 また、恵まれた山林資財をより高度に効果的に利用するための指導、また施業効果を高めるための林道開設、改良工事費などを含む林業振興費、林道開設改良費も含まれます。
 本年度の主な工事は、継続事業である栃山農道の開設工事四千万円、越原農免農道負担金七百万円、前山、上親田、久須見、西洞などの開設改良工事費二千八百万円などが予定されています。
 農林業の振興は、今後生活面の拡充ばかりでなく、農山村の生活基盤の整備を重点にする必要があると考えます。
 本年度も計画的継続事業の神土

消防費

11,465千円

明るく豊かな生活を、不時の災害から守るための費用です。
 消防団員の確保と技能の向上、それに広範囲にわたる村の防火防災のための機動力の強化や近代化などの整備によって体制の確立を図ります。
 本年度も防火水槽一基、サイレン塔一基、小型動力ポンプ付積載車一台などの施設器具購入などの経費が予算化されました。
 伝統に輝く本村消防団は、新年度二十六人の新しい団員を迎え、今後の活躍が期待されます。

教育費

65,653千円

明日の村を支える人づくりはむろん、すべての人々の生涯教育のための費用です。

教育費の中には教育行政の運営を図る教育総務費、小中学校費及び学校施設整備費、社会教育費、保健体育費などがあります。

人間一生が勉強を前提に基礎となる家庭教育、学校教育、そして社会教育、自己学習のための機会と場の提供によって、統一ある人間形成、豊かな情操、優れた創造力の持てる青少年の育成が、教育予算編成の基本方針となっています。

解などにより村ぐるみの盛上がりを見せたことよって本年度を出発年度として、今後具体的な計画樹立の段階へ入っていくことになりました。

社会教育及び青少年の育成は、進んで明るい豊かな社会の建設に参加することのできる人づくりを基本に連体と参加、表現と調和のとれた仲間づくり、村づくりを旨とする事業や施策が予算化されています。

公債費・その他

40,659千円

商工費三百二十万三千円、災害復旧費四百六十九万八千円、公債費二千八百二十二万二千円、諸支出金三百九十六万三千円、予備費などがあります。

このうち商工費の中で地場産業の



↑ 改良が進む白川—加子母線（大沢地内）

特別会計のあらまし

111,000千円

このうち商工費の中で地場産業の

国民健康保険会計

振興推進を目的に新しく商工業緊急運転資金融資制度を設け、基金造成費として二百万円が商工会に貸付られることになりました。

また災害復旧費では、農業用施設、農地林道、河川などの災害復旧工事費があります。

公債費は村の大きな公共事業に對し、国や県から資金の借り入れに對する元利償還金です。

また、村の他の団体、組織が借り入れたり、負担した額を、村が長年にわたり負担を約束したのも含まれます。

本年度の村内被保険者七百二十世帯、二千七百七十人の年間総医療費は一億三千三百万円と推定され、戸当たり十八万四千円、一人当たり四万八千円となります。

この総医療費の七〇割相当額に高額給付、任意給付を加えた保険給付費総額は一億二百八十八万一千円の見込みです。

この財源として国、県からの支出金六千九百五十九万一千円と、皆さんが負担される保険料三千五百二十二万円、一般会計からの繰入金六百万円などが充てられています。

東白川病院事業会計

歳入 80,200千円
歳出 101,700千円

医療機関に恵まれない本村にとって唯一の施設であり住民の健康を守るために大きな役割りを果たす病院の予算です。

立地条件、経営基盤の弱小、医師体制、設備などすべて不利な条件下

分収造林会計

200千円

村が契約によって民有林に造林を行い、代採時に一定の比率で収益を分けあう制度で約三十五畝の山林の管理費です。

昭和三十四年以來設定されていますが、造林地も年ごとに順調な成育をたどり、下刈りなど施業面積もしだいに減少し、したがって費用も少なくなってきました。

この会計は、村の将来の財政確保、山林資源の備蓄と良材生産への意識を高めるための施策の一環といえます。

本年度の村内被保険者七百二十世帯、二千七百七十人の年間総医療費は一億三千三百万円と推定され、戸当たり十八万四千円、一人当たり四万八千円となります。

この総医療費の七〇割相当額に高額給付、任意給付を加えた保険給付費総額は一億二百八十八万一千円の見込みです。

この財源として国、県からの支出金六千九百五十九万一千円と、皆さんが負担される保険料三千五百二十二万円、一般会計からの繰入金六百万円などが充てられています。

そのため、保険料の大幅な引きあげもやむおえず、一世帯平均約五万一千三百円、前年度に比べ約四五割の引きあげとなりました。

医療に對する保険制度は住民福祉の増進に欠くことのできないものであり、今後、県に対し、制度の改善と財政援助の強化を要望し国保財政の確立を図っていくことになっていきます。

福祉医療制度の充実ならびに保健衛生事業ともタイアップして公立病院としての業務はますます重要になってきます。

そうしたことから、赤字分については本年度も一般会計から繰り入れられますが、さらに企業経営としての努力も続けられることになっていきます。

村消防団一

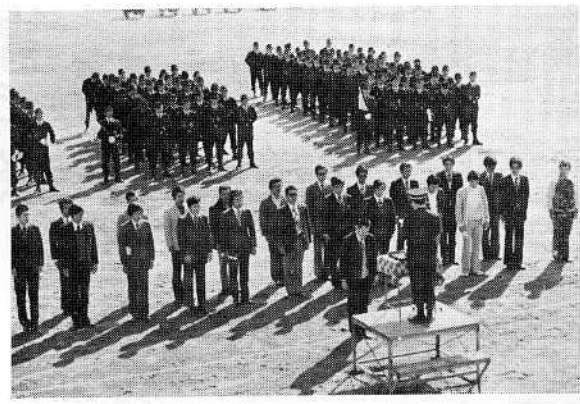
たゆまぬ努力実る

晴れの消防庁長官表彰

さる三月二十一日、本村消防団の入退団式ならびに消防庁長官表彰披露式が総合運動場において盛大に催されました。

入退団式のもよう

まず、午前八時三十分から新年度の入退団式が行われ、全消防団



→ 新入団員へ辞令交付

員整列の中で退団される古田団長以下十七人の退団者に長年の功績功労に対し村長から感謝状が贈られました。

引き続き、退団者を代表して村雲忍副団長が今後も伝統ある東白川村消防団の誇りと栄誉を守り続けてほしいと感慨をこめ謝辞を述べました。

かわつて、新しく団長に木村成人さん、副団長に中村十美さん、田口学さんが任命され、村長から辞令交付を受けさらに新入団者二十六人にも辞令が交付されました。

新入団者を代表して高木正範さんが力強く宣誓を行い、それぞれ来賓の励ましのあいさつがあつて式の幕を閉じました。

新年度は過去十二年間にわたり団長を歴任し、本村消防団運営に大きな功績を残された古田敬司さんから新進気鋭の木村成人さんへのバトンタッチが行われ、

文字どおり新陣容で消防団活動がスタートするわけです。

退団者

- (団長) 古田敬司
- (副団長) 村雲忍、桂川耕作、(分団長) 古田政春、今井恒行
- 安江一三、安江源一、(副分団長) 伊藤勉、安江進吾、高木秀

長官表彰 伝達のもよう

引き続き、同会場で杉村副知事ら村内外の来賓約百人を招いて、消防庁長官表彰披露式が行われました。

この消防庁長官表彰は、消防団数ある表彰の中で最高の栄誉ある国家表彰といえ、昭和五十年度は県下で本村消防団のみが受賞したものです。

それだけに選考基準が厳しく、組織力はむろん、団員ひとりひとりの消防精神を基として、日ごろの訓練、活動、競技に優れた実績を残していることが必要です。

幸い本村消防団は、このすべての条件に適合し今回の喜びの受賞となったもので、県下では十六番目となりました。

正式の表彰式はさる三月四日、東京の消防会館で行われ、団長らが出席して受彰しました。そして今回の表彰披露式実現の喜びとなったものです。

- 一、(部長) 村雲孝次、田口政春、安江三子男、今井光郎、安江庄吉、熊沢光介、林勉、桂川澄

入団者

- (本部) 渡辺昭彦、高木正範、村雲義英、安江誠、(第一分団) 安江竹司、新田久

式は、午前十時三十分から開かれ、全団員整列の中で改めて、杉村副知事から古田団長、村雲副団

村長からも団長就任中の功績を賛え特別感謝状が贈られ、その花道を飾りました。



長官表彰旗の披露

長に晴れの長官旗と表彰状が伝達された後壇上で披露されました。

続いて、今回退団される古田団長に日本消防協会長表彰が県消防協会長から伝達されるとともに、

村長式辞と

来賓のお祝いの言葉団長の謝辞と続いた後、宣誓及び決議文が万場一致で採択され、受彰を契機に、さらに伝統ある消防精神を高め、防火防災に努める誓いを新たにしました。

その後、昭和五十年年度郡

大会、県大会で活躍したポンプ操法や、有志で守ろうと昨年からはじめたかいてい操法が来賓に披露され、さかんな拍手が贈られました。また、披露パーティーは、村民センター大集会室に百名の来賓を招いて行われました。

青年祭

なぜ少ない一般の参加

東白川青年団の青年祭が三月七日、東白川体育館で開かれ、青年団四つの分団と青年文化講座から劇が上演されました。また、第三回村民運動会のスライド映写も行われ、館内には青年の活動記録などが展示されるなど、この日は、午後一時から六時半まで日ごろの

練習の成果を力いっぱい披露したものの、今年も観客のほとんどが子供たち、熱心に演技したり運営にあたった青年たちには、気の毒な一日ともいえます。しかし、他町村の青年が応援にかけつけるなど観客は、ここ二・三年と比較すると多く、張切って演技を続けました。



Aブロック「死神やらい」の熱演

各地の青年活動の低迷が問題になっている現在、こうした文化活動の一端として、演劇上演のために七十余名の若者たちが日夜努力し明るい健全な歩みを続けていることは、よい後継者を求めている本村にとって喜ばしいことといえます。

しかし、喜ばしいはずの村の人たちが、青年たちの活動発表の場である青年祭に参加できないのはなぜでしょう。

この問題は、大人だけではなしに青年達も一緒に考えてみる必要があるようです。

青年達はこの大会を終って「一般の観客が少なくて残念だが、この大会をもつまでの過程で、練習や準備の中で仲間づくりに役立ち団結力もできて大成功」と話しています。

たしかにそのとおりで、特に今

回の青年祭には、今までとは違ったものが感じられました。

一カ月半の短かい練習の中で、ただ集まって練習するのではなく役作りに悩みなながら、どたばた喜劇になりそうなお劇を、まじめに創作し、上演していたことです。

今年の青年活動は、団活動の充

実とともに奉仕活動などを通して地域住民の中にとけこみ、今までの団のわくの中だけの活動から、住民との融和を図れる活動を行なってきたようです。その青年達の意図をくんでやれる姿勢が必要といえます。

スポーツ保険に加入しよう

競技中の事故を保障

本村のスポーツ活動も年々盛んになり、住民相互の親睦と融和が図られ大変喜ばしいことです。

しかし、スポーツ人口が多くなるに従ってスポーツ活動中の事故が起きています。

こうした不慮の事故を少しでも保障できるのがお勧めしているスポーツ安全協会傷害保険です。

スポーツを楽しむ人みんなが加入するようにしましょう。

この保険で対象となる事故

- 一、加入している団体の管理下におけるスポーツ活動の中で起きた事故
- 二、村の教育委員会が主催したスポーツ活動の中で起きた事故
- 三、一又は二の団体などが指定する集合、解散場所と保険加入者の住所との間の通常の経路における往復中の事故

■保険料および保険金額

今年度から保険料が三〇〇円医療保険額も次のように増額されました。

区分	第一種	
保険料	300円	
死亡・後遺障害保険金額	300万円	
医療保険額	通院	1,000円
	入院	1,500円

■加入方法

- 一、加入手続き
 - 村内に住む人でスポーツグループ団体、社会教育団体、その他地域のスポーツを楽しむものと
 - するものは、代表者を決めて加入することができるので、氏名と年齢（満年齢）をはっきり書き保険料をそえて申込みこと
 - 二、申込み先および問合せ
 - 東白川村教育委員会事務局社

■万一事故にあった時

事故の日時、場所、状況、被害の程度を事故から三日以内に教育委員会事務局担当者に報告し指針を受けること

■昨年度のスポーツ安全協会傷害保険の利用状況

- 加入者数 五八二人
- 医療保険請求者 七人
- ひとり当たりの平均医療保険受給額 四一、〇〇〇円

このように、わずかな掛金で大きな保障が得られます。ひとりでも多く加入してください。

会体育担当者

有線 二一七二番

三、受け付け期限

第一次受け付け 昭和五十一年四月三十日まで

第二次受け付け 昭和五十一年六月三十日まで

(第二次受け付け分は七月十五日頃でなければ発効しませんので、できるだけ第一次に申込んで下さい)

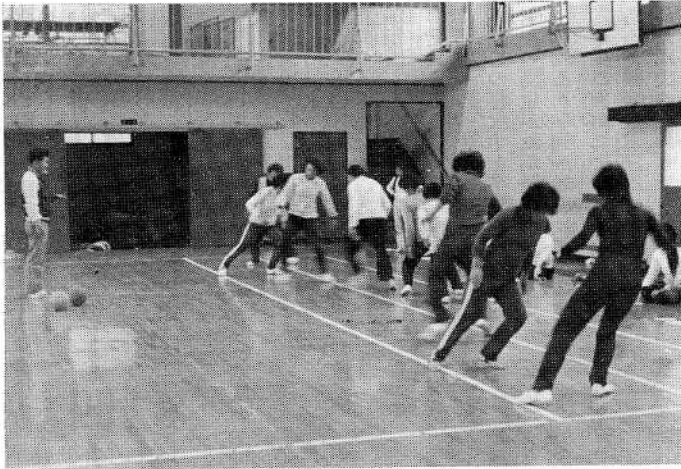
体力診断テスト

足が劣る中年男性

家庭婦人に目だつ握力の弱さ

二月二十九日、東白川体育館において教育委員会が主催する体力診断テストが行われ、四十七名の人が参加し、熱心に飛んだり跳ねたり自分の体力の限界に挑みました。

これは日ごろ仕事や育児などに追われ、運動する機会の少ない村



↑ 20秒間に何回? 反復横跳びにちよう戦の家庭婦人

のアウトラインもあり、それぞ

果がでると飛びあがって喜ぶ人もあり、それぞ

の結果、自分の年齢より若い結果がでると飛びあがって喜ぶ人もあり、それぞ

の月としてはめずらしい大雨にもかかわらず、四十七名もの参加があり、種目ごとに判定と評価の結果、自分の年齢より若い結果がでると飛びあがって喜ぶ人もあり、それぞ

内、満三十五歳以上の男子と、家庭婦人を対象に行ったものです。テストは、五種目に分けて行い、その結果を平均値に比較して、自分の体力は総合で何歳くらいか、また特に劣っているものはないかなどを判定します。そして自分では気がつかないで

の握力をつけるには、水を瞬間的につかむ訓練が効果があるといわれますが、要は楽しくしかも自然

の握力をつけるには、水を瞬間的につかむ訓練が効果があるといわれますが、要は楽しくしかも自然

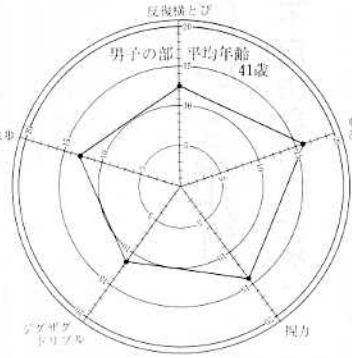
の握力をつけるには、水を瞬間的につかむ訓練が効果があるといわれますが、要は楽しくしかも自然

の握力をつけるには、水を瞬間的につかむ訓練が効果があるといわれますが、要は楽しくしかも自然

このグラフの中の五角形は正五角形になるのもとも体力のバランスがとれているわけ

表のようなダイヤグラフに表わしました。

を知る事ができたようです。この日、種目によって劣っていると判定された人は、今後練習によってその部分をのびし、次回のテストに期待をかけます。当日の参加者の記録の平均を別



に体力をつけるにはスポーツが最適といえます。特に投げる、握る、走ることでできるスポーツを勧められています。三十五歳以上の男子については正五角形に近い形になっています

今後、六月、十一月、三月と三回予定され、それぞれ自由に参加できることになっています。

この体力診断テストは、

このように参加した人たちのテストを分析すると、どの部分が優れ、どの部分が弱っているかよくわかります。

ひがししらかわ

2月末 人口の動き

人口	3,980人
世帯	960世帯
出生	3人
死亡	5人
転入	5人
転出	9人

人の動きあれこれ



誕生おめでとう
ございます。

(二月)

(大明神) 島倉 功

(平) 島倉 利己

(黒) 上田 捷吾

(三) 月 眞砂子

(柏) 本 栗本 忠一

(日) 向 安江 政行

(中) 通 新田 敏子

(大) 明 神 熊沢 美佐子

きよみ 規之



いつまでも
おしあわせに

(二月)

今井 英信 (宮代)

今井 貴子 (平)

春の教職員異動

森川校長ら十四人転任

後任中学校長には高田氏

ことしも四月一日付けで、教職員
の定期異動が行なわれました。

これによって東白川中学校長の
森川久先生はじめ、本村の教育振
興につくされた十四人の先生がた
が転出あるいは退職されました。

それらの先生がたにかわり、他
市町村からベテランの先生、ある
いはこの春大学を卒業された新進
気鋭の先生がたが赴任され、活気
あふれる新学期が始まっています
今度の異動により、転出、退職
あるいは転入、採用になった先生
がたは次のとおりです。

◆転出など

- 東白川中学校
校長 森川久(美濃加茂教育事
務所へ)
- 教諭 今井房雄(加子母中へ)
- 〃 沢田光雄(関市緑ヶ丘中
へ)
- 〃 西垣 誠(各務原市稲葉
中へ)
- 〃 後藤勇(岐阜市長森中へ)
- 〃 篠田敬子(関市旭ヶ丘小
へ)
- 神土小学校
教頭 三戸希夫(八百津小へ)
- 〃 養教 丹羽実千世(退職)

越原小学校

- 教頭 若宮正(土田小へ)
- 教諭 加藤明(瑞浪小へ)
- 〃 後藤房子(岐阜市本荘小
へ)

五加小学校

- 校長 金子美良(郡上郡明方小
へ)
- 教諭 山口彦良(多治見中へ)
- 〃 木嶋義人(鶴沼中へ)

◆転入など

- 東白川中学校
校長 高田 隆(岐阜市梅林中
から)
- 教諭 交告行進(白川中から)
- 〃 田上紀美夫(伏見小から)
- 〃 白井正弘(新採用)

神土小学校

- 教頭 三宅光次(可児町旭小か
ら)
- 養教 西尾尚子(新採用)
- 越原小学校
教頭 酒向年雄(神測小から)
- 教諭 藤井千秋(上麻生小から)
- 〃 田上亜矢子(新採用)

五加小学校

- 校長 山田秋夫(美濃小から)
- 教諭 今瀬信幸(御嵩小から)
- 〃 今井直樹(瑞浪市陶小か
ら)

昭和五十一年度における身体障
害者福祉強調運動にちなみ、この
たび郵政省では次の要領により、
郵便はがきを発行し、身体に著し
い障害のあるかたがたにこのはが
きを配布することになりました。

- 一、郵便はがきの発行
- (一)名称 身体障害者福祉強調運
動にちなむ郵
便はがき
- (二)種類 二十円
- (三)料額 印刷面意匠
青い鳥
- (四)版色 刷色 オ
フセット三色
- (五)発行枚数 三千万枚
- (六)発行年月日 昭和五十一年四
月二十日
- (七)原画作者 清水隆志
- (八)配布はがきの配布
対象者

郵便局だより

“青い鳥”はがき発行

からだの不自由な方のために

現在満六才以上のかた
(一)配布手続の方法
ア申し出

身体障害者福祉強調運動に
ちなむ郵便はがきの配布を希
望する身体障害者(以下「申
出者」という)又は、その代

人は、申出者の住所又は居所
の近くの郵便局(簡易局は、
除く)に身体障害者手帳を提
示し配布の申し出をする。

イ 郵送又は配布
申出者が申し出受付期間中
に郵便局に申し出た場合は
発売日以降申出者の住所又は
居所を受け持つ集
配郵便局(以下
「受持郵便局」と
いう)から郵送す
る。ただし申出者
が発売日以降受持
郵便局に申し出た
場合は受持郵便局の窓口で配
布することができる。

ウ 配布枚数
配布の対象者一人につき三枚
エ 申し出受付期間
昭和五十一年四月一日から
昭和五十一年五月十日まで



おくやみ
申しあげます

- 今井 和廣(一宮市)
- 今井 幸子(大沢)
- 今井 直美(下野)
- 小林 幸美(白川町)

(二月)

- 今井かなよ(大沢)
- 安江しゆん一(日向)
- 安江友太郎(黒瀨)
- 今井 正平(大沢)
- 古田 武三(久須見)
- (三月)
- 安江 なみ(日向)

■商業統計にご協力を

通商産業省では、二年に一回
全国の卸売業、小売業、飲食業
を営む全事業所を対象として商
業統計調査を行っています。

この調査は、統計法に基づく
指定統計調査であり、今回は第
十三回目にあたり、五月一日現
在で調査を行っています。

調査の結果は、我が国の商業
及び商品流通の現状を正確には
握し、国や県、市町村の計画作
成、又は施策を進めるための基
礎資料として利用されています
調査の方法は、調査員が各商
店を回って、調査票の記入をお
願ひし、記入された調査票を収
集にまいります。

村づくりの推進力

団体長・役員決まる

ことし一年間、皆さん方の代表として各分野で活躍していただく組長、各種団体長、役員のかたがたが決まりました。

最近の悪い習慣として、すべてのことを役員におしつけてしまうことが多いようです。

忙しい仕事の中で奉仕的な仕事をしていただかねばなりません。皆さん一人一人が役員になつたつもりで、その目的が達成しやすいよう協力してゆきたいものです。

◆組長

大口—安江章三、平—新田元美、下親田—田口耐、上親田—安江鉦次、中通—村雲兵衛、神付—山口幸之丞、中谷—田口鋭雄、加倉尾—新田義男、西洞—島倉利夫、曲坂—安江伝、日向—高木丈夫、陰地—鈴木泰宏、栃山—内木良二、黒淵—安江庄兵、大明神—田口二士夫、柏木—近藤富雄、宮代—今井隆次、大沢—今井輝夫、下野—今井幸四郎、久須見—古田啓次郎

◆PTA会長

東白川中学校—村雲忍(陰地)
神土小学校—澤木嘉康(平)
越原小学校—河村繁治(陰地)
五加小学校—古田保(久須見)

◆東白川村婦人会

会長—今井まさ江(宮代)
副会長—三戸きり(柏木)

◆安江藤子(平)

会計—今井安美(下野)
書記—安江久子(宮代)
神土支部長—河田あや子(西洞)
越原支部長—桂川とし子(栃山)
五加支部長—栗本嘉代(柏木)

◆東白川村青年団

団長—安江一成(大明神)

更年期とは、成熟期から老年期に至る過渡期のことです。

更年期時期は、月経が不順になり、止まるといふ生理的な変化とそれからくる精神的な変化が現われる時期です。

更年期障害とは更年期に起こる不定愁訴症群のことです。

不定愁訴症候群とは、体にはつきりした原因疾患がないのにいろいろな自覚症状が起こることです。

更年期に起こる不定愁訴症候群は人間の老化によって起こるといふ特徴があります。体が老化してゆくことは、誰もまぬがれないことですが、更年期障害を経験する



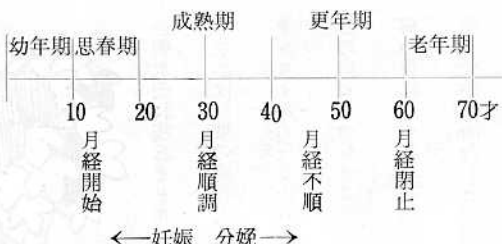
更年期婦人の健康

すなわち自律神経系の不安定からくる症状です。

ところで、更年期障害は、どういふ自覚症状を訴えるかというところが、精神神経障害・心臓血管障害・内分泌障害に分けることができます。

精神神経障害—神経質・精神不安定・不眠・不安定

心臓血管障害—頭痛・めまい
嘔気・失神傾向・狭心症



抑うつ・食欲不振・食欲異常抗進

高血圧・浮腫・知覚異常
うっ血・発汗・冷感・のぼせ感

内分泌障害—疲れ易い・体重の変化・肩こり・関節痛
この他に精神的な影響によって起こる心因性の更年期症状があります。

更年期の障害には以上のようないろいろな症状がありますが、これらは放っておいても二年位で治ります。この期間を早く軽く終わらせるために、ホルモン療法とか精神安定剤を用いる方法もありますが、それよりも、ふだんから健康に気をつけ、四十才台、五十才台を健康で過ごすことと、精神的な安定をはかる努力が大切です。

副団長—安江祐策(大明神)
◆林裕子(平)

◆栄養改善推進協議会
会長—苅田良香(曲坂)
副会長—金尾和子(陰地)

神土支部長—安江小夜子(下親田)
越原支部長—桂川春子(黒淵)
五加支部長—田口三千子(柏木)

◆体育推進員

古田公平(平)、藤井昭司(平)
山口和久(平)、安江建夫(平)
古田勝彦(平)、安江健二(下親田)、樋口京一(中通)、安江正

大(日向)、安江司(日向)、安江誠(大明神)、安江祐策(大明神)、今井章治(大沢)、今井直美(下野)、古田茂樹(久須見)

◆社会教育委員

土屋富士雄(神土小校長)、古田小夜子(久須見)、今井眞子(平)
古田保(久須見)、安江正男(日向)、田口稔(平)、今井定夫(曲坂)

◆東白川消防団

団長—木村成人(上親田)
副団長—中村十美(平)

田口学(柏木)
予防部長—桂川耕輔(大明神)
ポンプ部長—安江利勝(平)
訓練部長—中島潮巳(平)
第一分団長—小池捷一(西洞)
副分団長—田口曉(平)
服田孝彦(平)

第二分団長—藤井勝美(大沢)
同副分団長—今井八十己(下野)
第三分団長—田口勝司(大明神)
同副分団長—田口政司(大明神)
◆今井良一(曲坂)



晴れて卒業実社会へ

ふるさとへの便り



仕事とバレーにがんばりたい

長い間広報を送っていただき、本当にありがとうございます。夢と希望にあふれて入学した高校生活も、最初は慣れない下宿生活のため故郷をなつかしく思い、淋しい思いを致しました。そんな時は送っていたいただいた広報がどんなにかうれしかったものでした。

長い間おかげ様で無事卒業する事

部活動で遅く帰った時、暗い部屋に置かれた懐かしい広報を手にした時は、お腹のすいたのも忘れてむさぼり読んで慰められたものでした。

また大好きなバレーもやることになっていきます。今までは勉強とバレー、今度は仕事とバレー、いままでも同様両立するため仕事とともになんぼりたいと思います。

緑にあふれた山々、清らかな流れの白川、こんなすばらしいふるさと、近代化に押し流されず、いつまでも変わらないふるさとであってほしいと思います。

が出来ました。その間広報がどれだけの支えになったかわかりません。本当にありがとうございます。

これからは実社会に巣立つわけですが、もう卒業と同時に就職された友達の話聞いて、大変な事だなあーと思っています。

知事さんのヒゲをひっぱったのは雪ちゃんだけ!?



中国から里帰り中の安江宏子さん雪ちゃん親子が、平野知事に招待され昼食を共にしました。今年の1月知事と一時帰国者の皆さんとの懇談があったおり、知事はことのほか雪ちゃんが気に入る、自分の孫のようなかわいがりよう。天真らん慢な雪ちゃんは、知事のひげをひっぱり、まわりをはらはらさせる一幕でした。

編集室から

四月一日付の人事異動で、広報担当が変わりました前任者は広報編集十数年のベテランでしたが、今度は一年生ですので、お気付きの点はどしどしお知らせください。

- 美濃加茂市太田町一八八一の一 小菊荘七号室 村雲房子



あなたの作品をお寄せ下さい

- ・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。
- ・毎月末までに神戸田口良三宛に出して下さい。

余剰米売れ残るまま春立ちて管農の道今更に険し

酒飲めば言葉の荒き夫なれど病臥す吾にいとやさしき

オルゴール力なく止みしその果てに静けさありて雨の音をきく

春の庭ピラカンサスのつぶら実の雪をかぶりて朱の鮮けし

梅の香にふくらみ初めし露のとう春まだ寒き背戸の笹生に

幾日て手入済むかと段畑を数へつつ下る冬の日暮れを

老し身を独り暮しの軒下に今朝も小犬が吾を励ます

孫達はみな寝静まり寂かなり外は吹雪か風の音する

「春一番」過ぎたる朝の谷水の照り返しつつまんさく咲けり

朝起きに雪かくしばし楽しくて汗を流せるよき運動ぞ

乗鞍ははや初雪を報ずるに吾が稲はまだ稲架のままなり

池の面に春の時雨の走りつつ底ゆく耕鯉見えすなりたり

乱世にすさぶ心を母のごといたはりくるる歌と思へや

爾々と尾根に松風わたれども谷間の杉は声さへ立てず

俳句

募集

葉書にて五句以内御寄せ下さい。初心者の方も歓迎します。

- 田口良三